

四天王寺和らぎ苑

和らぎ苑では、『宣言』の具体的実践のために障がいを持つご利用者が安心して暮らせる和らぎ苑をご家族とともにつくることを目指して、『和らぎ苑の誓い』を昨年度の事業計画に示した。

この実現のために、以下の7つのビジョンを策定し今後の運営方針の基にしたいと考える。

～具体的な事業活動～

(1) 理念の継承

朝礼の励行と、たがいに挨拶からの始業。四天王寺福祉事業団の一員として、全ての人の幸せを願い「人の幸せをよろこびとして」「安心して暮らせる地域づくり」「人の尊厳と主体的な生活を守る」ことを旨に専門職(プロフェッショナル)として職務にあたる。各人が和らぎ苑の顔、代表であるという意識を持ち、各部署での問題、その解決策を提案・実行する。

(2) ご利用者中心の医療、療養介護

温かで高度な医療でご利用者を支え、ご利用者の年齢、状態に応じたより豊かな日中活動を提供する。また、具体的行為を明示した個別支援計画を検討し、療養介護の質の向上を目指す。

(3) よいチームワーク

“和”で結ばれた大きな家族として、ご両親ご家族とともに利用者ご本人を支える。

多職種によるミニカンファレンスを含めて事例検討会を随時開催し、一人のご利用者を共有の認識で支えるチーム医療、チーム介護を目指す。

(4) 安全で安心な施設

安全管理は施設の生命線。安全・危機対策は人の努力で構築可能であり、安全な環境を構築することで安心が生まれ、安心な環境からよいサービス提供が可能となる。医療安全、安全衛生管理、感染症対策、防犯、災害に対して、各部署並びに悲田富田林苑と連携を図り活用可能な対策を構築する。

(5) 知識、技術の向上、教育システムの確立

専門職(プロフェッショナル)としての知識、技能、態度・情意を育成してゆく教育システムを構築し職員各人がその職責を果たすべく知識と技術の向上を目指す。また、法人研究発表会への積極的参加。国内外学会・研究会、研修会への参加および学術報告を推進する。

(6) 地域のための施設

短期入所については、質の向上とともに、運用改善・事業拡大を模索する。また、ハード面での制限がある生活介護・児童発達支援等の通所事業は、地域ニーズに応えるためにも将来を見据えた計画が必要である。訪問看護、訪問リハビリ、外来リハビリ、障がい児歯科はこの地区になくてはならない存在であり、基幹施設としての役割を果たす。

(7) 経済的安定

経済的基盤の確保は、わたしたちの目標を達成するための礎。各人、経済感覚を持つことは大切である。以下に具体的目標数値をあげる。

施設入所は定員満床を達成・維持し稼働率98.9%を目指す。また、利用者数前年度比で短期入所は107.1%、通所事業は114.9%、外来診療は112.1%、訪問看護は112.9%をそれぞれ目指す。

～改善活動～

(1) 在宅支援強化。特に人工呼吸器装着児、3歳未満児の短期入所受け入れ。

(2) 福祉有償運送サービス開始。

(3) 高度で温かな医療の提供。医業収入の増収。

(4) 臨床心理士の活動強化。症例検討会への参画。

(5) 療養環境の改善。ことに屋上の環境整備。

(6) 防災、災害に向けて、マニュアル検証と実践訓練の実施。

